

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	AIAI PLUS 花見川		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 20日		～ 2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2024年 11月 20日		～ 2024年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	2024年 11月 20日		～ 2024年 12月 20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 24日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画(個別支援計画)が作成されている。	園、職員、保護者との情報共有を基に、こどもの様子を見ながら、複数の目で見られた情報を基に、支援計画書を作成しています。	児童発達支援管理責任者自ら、園を訪問し、子どもの園での様子を定期的に確認していきます。
2	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われている。	訪問先施設の担当者と、十分な打ち合わせの上、適切な支援方法を設定している。また適時方法の変更、見直しを行っています。	より緊密な方法として、メール等を活用を促進していきます。
3	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができています。	保育所等訪問支援の利用者は、通所支援の利用者でもあるので、訪問後の報告や、情報共有は、通所時の報告と共に訪問後毎に行っています。	個別支援計画作成時以外に、定期的に30分以上の面談を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていない。	ご相談を受けた保護者様に、随時行っていますが、こちらからもお声がけしていきいます。	研修会形式の実施を準備していきます。
2	訪問支援に使用する教具教材が整えられていない。	間接支援の場合、園のカリキュラム進行に合わせて支援を行うので、必ず教具教材を準備するものではありません。	その分、訪問先担当者との情報共有を密にしていきます。
3	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていない。	ご相談については、随時お受けし、対応していますが、その様な申し入れが可能であることが、周知されていません。	あらためて、案内文等で、保護者様にご案内していきいます。